

令和2年度岡山県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 日程表

【区分Ⅰ コーディネーター向け】

日数	時間（分）		項目	内容	獲得目標	講師
1日目 (11/5)	9:00～ 9:15	15	概要説明	研修の概要（目的、期待する成果等）を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15～ 10:15	60	総論	コーディネーターのあり方、役割等 アドボカシー、エンパワメントの視点 多職種との連携、ネットワーク作り、資源の開発等 ケアマネジメントの手法 子育て支援としての相談支援	医療的ケア児等コーディネーターとして、どうあるべきか、視点、地域連携、資源の開発の方法などを理解する。	社会福祉法人 旭川荘 理事長 末光 茂 氏
	10:25～ 11:55	90	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要な具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ。 それが当事者や家族にどのようなメリット・デメリットがあるか知る。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	12:40～ 14:10	90	重症心身障害医学総論、地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等	重症心身障害の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的な支援をイメージする、地域の医療的な現状を把握する。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	14:15～ 15:15	60	ライフステージにおける支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点を理解し、適切な計画作成ができる。	旭川荘療育・医療センター 看護顧問 義村 冷子 氏
	15:15～ 16:15	60	福祉制度・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。	計画相談に必要な福祉制度・資源（地域特有の制度、資源の状況）を把握し、活用ができる	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子 氏
	16:15～ 17:15	60	医療・福祉・教育の連携（チーム作り）	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携をどう構築していくか。	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携はどうなっているのか、また今後どのように連携を構築（チーム作り）をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子 氏
2日目 (11/6)	9:00～ 12:00	180	在宅支援関連施設の理解	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護 医療型短期入所 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	重症心身障害児(者)の在宅支援に関わっている事業所や施設の実態を把握し、連携できる。	つばさクリニック 医師 中川 ふみ 氏 訪問看護ステーション連絡協議会 会長 江田 純子 氏 医療型短期入所 講師調整中 旭川児童院通園センター 所長 羽原 史恭 氏 旭川児童院通園センター 支援主幹 福田 玲子
	13:00～ 14:00	60	本人・家族の思い、ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	岡山県重症児を守る会 家族 宮木 悦子 氏
	14:00～ 15:00	60	重症心身障害児(者)の意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思にできるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 支援顧問 石井 貞江 氏
	15:10～ 17:10	120	重症心身障害児(者)における計画作成のポイント	演習に向けて、計画作成のポイントを学ぶ。	これまでの講義を元に、特に重症心身障害児(者)の計画作成に重要な項目を理解できる。	地域活動支援センター旭川荘 保健主任 川西 義光 氏
3日目 (12/3)	9:00～ 17:00	420	演習 計画作成	事例をもとにした計画作成の演習。実際自分たちで計画を作成。また模擬担当者会議により、当事者の意向を反映し、また支援者間の調整を行う。	総論やこれまでの講義を元に、特に重症心身障害児(者)の計画作成に重要なポイントを意識し、事例に基づいて計画作成ができる。	旭川児童院 他 ファシリテーター 6名
4日目 (12/4)	9:00～ 17:00	420	演習 事例検討	事例をもとに、意見交換・スーパーバイザーによる計画作成の指導を行う。	事例をもとに、ニーズの把握、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整などができる。	旭川児童院 他 ファシリテーター 6名
合 計		1,680				

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。

令和2年度岡山県医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修 日程表

【区分Ⅱ 支援者向け】

日数	時間（分）		項目	内容	獲得目標	講師
1日目 (11/5)	9:00～ 9:15	15	概要説明	研修の概要（目的、期待する成果等）を説明	研修のイメージをつかむ	
	9:15～ 10:15	60	総論	コーディネーターのあり方、役割等 アドボカシー、エンパワメントの視点 多職種との連携、ネットワーク作り、資源の開発等 ケアマネジメントの手法 子育て支援としての相談支援	医療的ケア児等コーディネーターとして、どうあるべきか、視点、地域連携、資源の開発の方法などを理解する。	社会福祉法人 旭川荘 理事長 末光 茂 氏
	10:25～ 11:55	90	医療的ケアの実際	医療的ケア児等に必要な具体的な医療的ケア	医療的ケアの具体的なイメージを持つ。 それが当事者や家族にどのようなメリット・デメリットがあるか知る。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	12:40～ 14:10	90	重症心身障害医学総論、地域の医療連携など	重症心身障害医療の特徴、代表的な疾患の経過・特性、地域の医療資源、医療連携の概略等	重症心身障害の特徴、各疾患によるライフステージやそこに必要な医療的な支援をイメージする、地域の医療的な現状を把握する。	旭川荘療育・医療センター 顧問医師 片山 雅博 氏
	14:15～ 15:15	60	ライフステージにおける支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点	NICUからの移行や、学童期、成人期それぞれの支援の要点を理解し、適切な計画作成ができる。	旭川荘療育・医療センター 看護顧問 義村 冷子 氏
	15:15～ 16:15	60	福祉制度・福祉資源	重症心身障害児(者)の計画相談に必要な福祉制度・福祉資源、特にその地域特有の制度など。	計画相談に必要な福祉制度・資源（地域特有の制度、資源の状況）を把握し、活用ができる	旭川児童院 地域療育センター 所長 村下 志保子 氏
	16:15～ 17:15	60	医療・福祉・教育の連携（チーム作り）	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携をどう構築していくか。	地域の中で、どのような医療・福祉・教育の資源が存在し、連携はどうなっているのか、また今後どのように連携を構築（チーム作り）をしていくかを知る。	旭川児童院 地域療育センター 副所長 本田 順子 氏
2日目 (11/6)	9:00～ 12:00	180	在宅支援関連施設の理解	在宅支援診療所等 医療機関 訪問看護 医療型短期入所 生活介護 児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援	重症心身障害児(者)の在宅支援に関わっている事業所や施設の実態を把握し、連携できる。	つばさクリニック 医師 中川 ふみ 氏 訪問看護ステーション連絡協議会 会長 江田 純子 氏 医療型短期入所 講師調整中 旭川児童院通園センター 所長 羽原 史恭 氏 旭川児童院通園センター 支援主幹 福田 玲子
	13:00～ 14:00	60	本人・家族の思い、ニーズ、QOL	当事者の思い、ニーズ、また本人・家族のQOLをどのようにとらえるか。	当事者の思い、ニーズを知り、理解を深め、より当事者の意向に沿った計画作成ができる。	岡山県重症児を守る会 家族 宮木 悦子 氏
	14:00～ 15:00	60	重症心身障害児(者)の意思決定支援	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴、意思伝達装置について どのように意思決定支援を行うか。	重症心身障害児(者)のコミュニケーションの特徴を知り、意思決定支援をどのように行うかを学ぶことにより、当事者の意思にできるだけ沿った計画相談ができる。	旭川児童院 支援部 支援顧問 石井 貞江 氏
	15:10～ 17:10	120	多職種連携	小児在宅医療における多職種連携	小児等在宅医療における連携・協働の必要性を理解できる。	訪問看護ステーション エール 管理者 平田 晶奈 氏
合 計		840				

※ 講師の都合等で日程が変更になる場合があります。